

## 第25回 原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 1995年7月18日(火) 9:30～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

(1) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について

4. 審議事項

(1) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について

標記の件について、電源開発株式会社から

- ・長年にわたり、新型転換炉実証炉建設に向けた立地活動を展開してきた電源開発株式会社にとって、電気事業連合会からの要請は厳しいものであるが、電気事業を巡る厳しい情勢の中での電気事業連合会の判断であると受けとめている。
- ・昨年5月の漁業補償協定締結後、本格的に経費を見積もることのできる環境が整ったことから、経費の見直し作業を進めたところ、本年2月、総経費5,800億円との結論を得、3月に電気事業連合会に提出。今回の電気事業連合会の要望提出は、以上の経緯を踏まえたもの。
- ・経費見積りに当たっては、現行設計の範囲内で可能な合理化を追求したが、特に人件費の高騰化により、経費の大幅増額となった。
- ・原子力発電所立地への地元の期待もあり、早期の結論とりまとめを期待する。

等の説明があり、審議した結果、

- ・国の原子力政策決定に当たっては、経済性のみならず、総合的な観点から判断する必要がある。
- ・思いきった新たな発想に基づく、コストダウンの余地はないか。
- ・新型転換炉開発の二つの特徴である、プルトニウム等の燃料を柔軟に燃やすことができるという点と、ナショナルプロジェクトとして進めてきたという点を考慮する必要がある。

等の意見があり、引き続き審議することとした。